

ST 未来創造 II

金融教育 複利の威力と脅威



どうして資産形成が必要なのか？

- 低金利のもとでは、預貯金ではお金は増えません
- 物価上昇すると、貯蓄が相対的に目減りします
- 給与収入だけだと、何かの原因で働けなくなったとき、収入ゼロで危機になります。リスク分散しましょう



目的別に金融商品を活用しながら、皆さん一人一人が自分に合った資産形成を行い、将来に向けて準備していきましょう。
語学やPCスキルを学ぶ、資格を取得するなど自己投資を行い、稼ぐ力を高めることも大切です。

「若さ」 = 「時間がたくさんあること」が

「最大の武器」



【アインシュタイン名言】

人類最大の発明は、「複利」である。

【バフェット名言】

急いで金持ちになろうとしてはいけない
(ゆっくり金持ちになろうとすれば誰
でも金持ちになれる)

課題(このカードに記入して提出)

次の「シミュレーター」を使って、積立複利の効果
を確かめよう！下記の空所を埋めて提出せよ。

積立シミュレーション | SBI証券

自分の設定；毎月()万円 利率()%

()年間の運用*運用の結果 ()万円

積立シミュレーション

積立していると
将来いくらになるか計算する

積立期間

毎月積立額

利回り

毎月積立額

3 万円



0

50

100



積立期間

20 年



0

25

50



利回り (年率)

2 %



0

10.0

20.0



入力条件で積立した場合
最終積立金額は

883万円

20年目

積立元本 + 増えた額

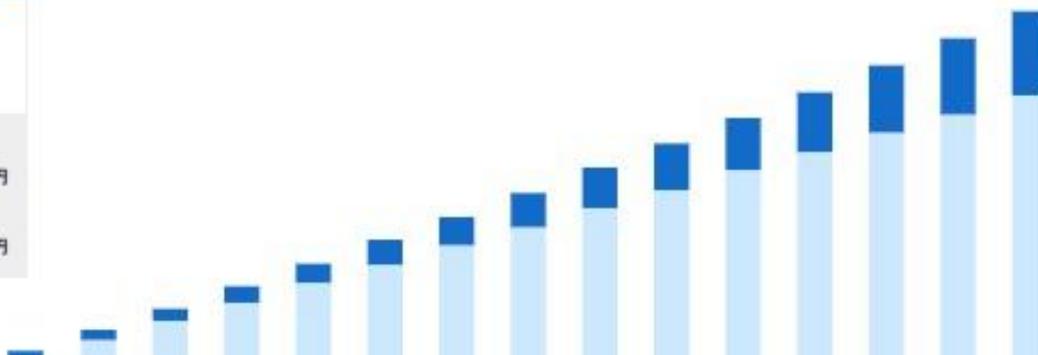
8,832,599 円

積立元本

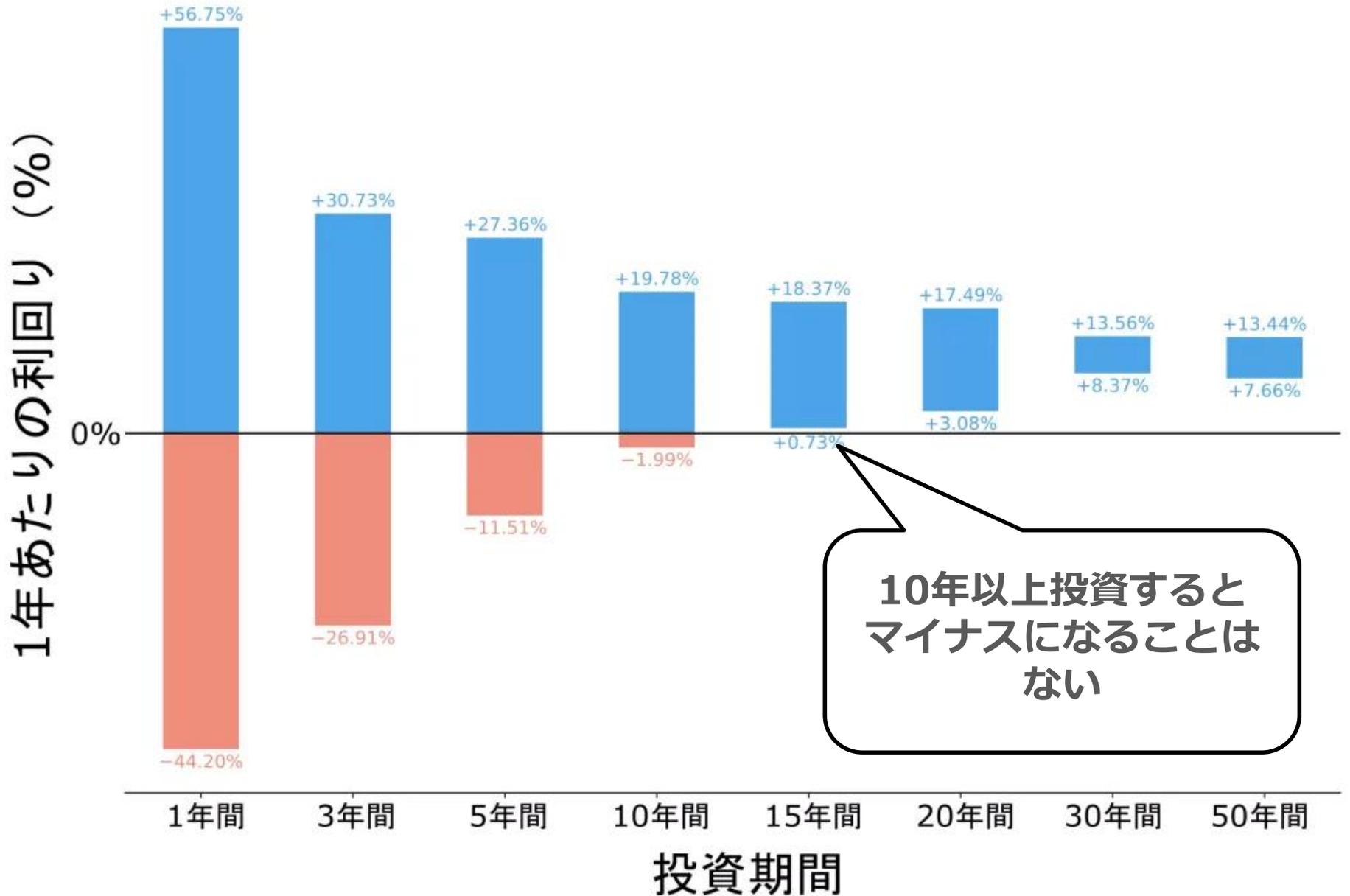
7,200,000 円

増えた額

1,632,599 円



米国インデクス株 S&P500 投資期間による利回り



資産形成に関わる

いろいろな「金融商品」
について学ぶ

実践ワーク

3つの「金融商品」

問い

あなたのグループは、次に示す3つの金融商品のうち、どの商品で20年間、運用していこうと考えますか？

最も金額が増える商品どれか一つ選んでください
各金融商品は数に限りがありますので早いもの順に商品を選べます

商品を選択後、毎年100万円がいくらになるか空所を埋め、20年後の金額を計算してください

例；-20%のときは、元金×()⇒何を乗ずれば良いか？

3つの金融商品

元本100万円を20年間運用するとします。
あなたのグループは次のどの金融商品を選び
ますか?いずれも単純平均金利は5%です。

商品1 毎年5%ずつ上昇

商品2 1年ずつ30%上昇、20%下降

商品3 1年ずつ50%上昇、40%下降

演習

実際に計算してみましよう！

**自分のグループが選んだパターンの各年、
空欄に毎年の運用後金額をいれていきま
しょう**

**次に選んでいないパターンも計算してみ
ましよう！**

パターン1 毎年5%ずつ上昇

| | | | | | | | | | | |
|-------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 年数 | 1年 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 利率 | 5% | 5% | 5% | 5% | 5% | 5% | 5% | 5% | 5% | 5% |
| 100万円 | 105 | 110.25 | 115.76 | 121.55 | 127.63 | 134.01 | 140.71 | 147.75 | 155.13 | 162.89 |

| | | | | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 5% | 5% | 5% | 5% | 5% | 5% | 5% | 5% | 5% | 5% |
| 171.03 | 179.59 | 188.56 | 197.99 | 207.89 | 218.29 | 229.20 | 240.66 | 252.69 | 265.33 |

パターン2 1年ずつ30%上昇、20%下降

| | | | | | | | | | | |
|-------|-----|------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 年数 | 1年 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 利率 | 30% | -20% | 30% | -20% | 30% | -20% | 30% | -20% | 30% | -20% |
| 100万円 | 130 | 104 | 135.2 | 108.16 | 140.61 | 112.49 | 146.23 | 116.99 | 152.08 | 121.67 |

| | | | | | | | | | |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 30% | -20% | 30% | -20% | 30% | -20% | 30% | -20% | 30% | -20% |
| 158.16 | 126.53 | 164.49 | 131.59 | 171.07 | 136.86 | 177.91 | 142.33 | 185.03 | 148.02 |

パターン3 1年ずつ50%上昇、40%下降

| | | | | | | | | | | |
|-------|-----|------|-----|------|-------|------|--------|-------|-------|-------|
| 年数 | 1年 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 利率 | 50% | -40% | 50% | -40% | 50% | -40% | 50% | -40% | 50% | -40% |
| 100万円 | 150 | 90 | 135 | 81 | 121.5 | 72.9 | 109.35 | 65.61 | 98.42 | 59.05 |

| | | | | | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 |
| 50% | -40% | 50% | -40% | 50% | -40% | 50% | -40% | 50% | -40% |
| 88.57 | 53.14 | 79.72 | 47.83 | 71.74 | 43.05 | 64.57 | 38.74 | 58.11 | 34.87 |

価格変動パターン別シミュレーション

元本100万円を20年間運用するとします。
あなたのグループは次のどの金融商品を選びますか？いずれも単純平均金利は5%です。

パターン1 毎年5%ずつ上昇

265万円

パターン2 1年ずつ30%上昇、20年

148万円

パターン3 1年ずつ50%上昇、40年

35万円

問い

この結果を見て、実際の生活の中で
このようなことが当てはまることはあ
りませんか

(一つの現象から、同じ構造をもつものを探し出
す ⇒ 「具体」から「抽象」へ 【概念化】)

回答例

平均するとどの商品も毎月 5 %の上昇ではあるが…

- ・徹夜して一夜漬けの勉強は総じて効果が少ない
- ・ギャンブルは、勝ち負けの差が大きいほど元金が増えない。マイナスになる場合もある。

問い

「複利の威力」について学びましたが、逆に「複利の脅威」について考えましょう。

大きな買い物をするために消費者金融でローンを組んだ時に支払う総額を調べてみよう。

例； 年利15%で100万円を10年間借りた場合

WEBカード + 🔍 で シミュレーションサイトへ行きます

<https://keisan.casio.jp/exec/system/1256183644>

ローン返済（毎月払い）

元利均等または元金均等方式で、借入金から毎回の返済額と借入残高の表を計算します。

借入金額 万円

返済方式 元利均等 元金均等 端数 ▼

返済頻度 毎月 半年毎 毎年

当初金利 % (年利) 年間

それ以降の金利 % (年利)

返済期間 年 ▼ ヶ月

借入年月 年 ▼ 月 (返済開始は1カ月後)

元金据え置き期間 ヶ月 ▼

計算

クリア

グラフ

保存・呼出

印刷

14桁 ▼

いろいろな
数値を
代入して
みましょう

ローン返済 (毎月払い)

回数

年/月

返済総額

元金分

利息分

借入残高

ここに計算額が表示されます

問い

「複利の威力」と「複利の脅威」について、感じたことや気づいたこと、学びになったことを言語化してください。

演習問題

3. 「備える」 ～社会保険と民間保険



語群；民間 生命 社会保険 損害 保険 資産形成

- (1) 様々なリスクに備え、みんなで少しずつお金を出し合っ
て、必要なお金が支払われる仕組みが(1) です。
-
- (2) 日本には社会基盤としての(2)制度がありま
す足りないと思う場合は (3)保険で補います
-
- (3) 民間保険には、(4) 保険 (人に対する保
険) と (5) 保険 (モノに対する保険) が
あります
-
- (4) ライフプランに合わせて、
①自分のお金を増やす(6)、②リスクに備える社
会保険、③民間保険の利用 の3つを組み合わせまし
よう。



(1) 様々なリスクに備え、みんなで少しずつお金を出し合っ
て、必要なお金が支払われる仕組みが(1 保険) です。

(2) 日本には社会基盤としての(2 社会保険)制度がありま
す。足りないと思う場合は (3 民間) 保険で補います

(3) 民間保険には、(4 生命) 保険 (人に対する保険) と
(5 損害) 保険 (モノに対する保険) があります。

ライフプランに合わせて、
(4) ①自分のお金を増やす(6 資産形成)、②リスクに備え
て社会保険、③民間保険の利用の3つを組み合わせま
しょう。
